

ちばてつや



新人漫画家応援企画!!

変^ヤわり^ツたい新人集合!

最終回

ちばてつや道場



指導者予定表

最終回

ちばてつや
師範

第78回ちばてつや賞の締め切りまであと10日! 賞を目指す新人漫画家さんへの

応援として、選考を務めるちばてつや先生ご本人に直撃インタビュー!!

先生が考える読み切りのイロハを、2週にわたって特別掲載!!

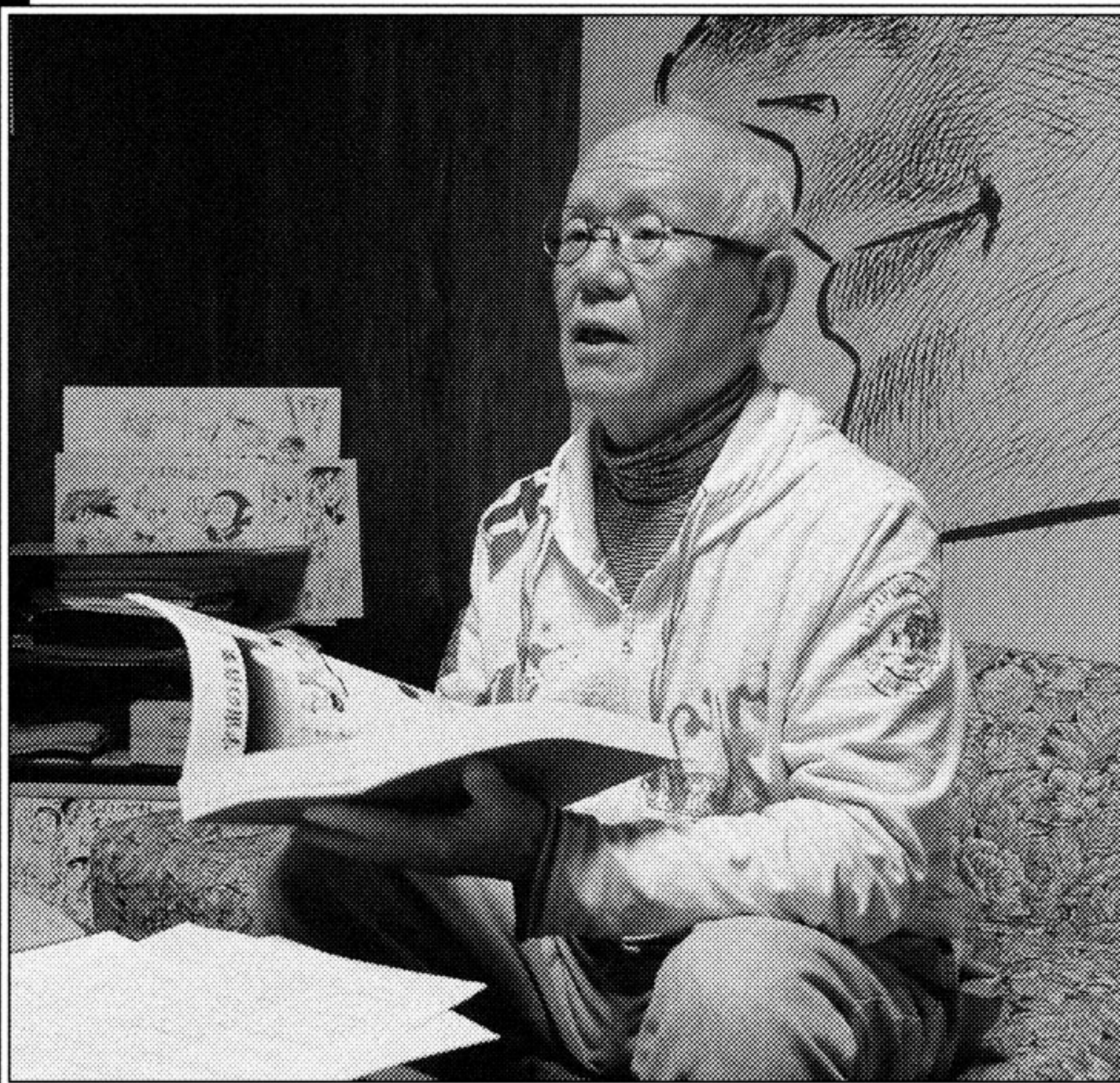
ちば先生がデビュー前から現在まで、漫画を描く上で意識されていること、新人さんに意識してほしいこととは!?

心から
「続きが読みたい」
と思う世界を
描くことが大事。

——ちば先生が漫画家を目指されたキツカケはなんだったのでしょうか？

ちばてつや(以下:ちば):最初に漫画に触れたのは、たしか道端で拾った漫画の豆本だったかな。読書は大好きで童話や名作全集などたくさん読んできたけど「何だこれは!! スゴイわかりやすく面白くない」って喜んで家に持って帰ったんですが、私の母親は漫画が大嫌いだった。持って帰ったその本はたちまち破られてしまつて……。だから小説を読んで、それをこっそり隠れて自分で漫画にして楽しんでいった。例えば江戸川乱歩の『怪人二十面相』の中に出てくる小林少年を主人公にした探偵漫画や、小泉八雲の怪談を漫画に描いたりしたかな。

漫画家になれたキツカケは、そういった活動の中で、少女雑誌社の知り合いのツテから「女の子を可愛く描けたら仕事



ありますよ。」という声をいただいたから。迷わず飛び込みました。

——デビューされる前は、漫画を描く際にどんなことを意識されていましたか？

ちば:自分自身が今一番読みたいものは何か。どんな世界が読みたいのか。作品を読んで「すごく面白かったな。こういう漫画もつと読みたい!」となったものを描くことかな。江戸川乱歩の少年探偵ものも『怪

人二十面相』を読んで、「こういう作品を漫画でも読みたいな」って思ったから描いた。自分が、本当に描きたいものを素直に描いていたから、そのあとの仕事に繋がっていったんだと思います。

——いろんな作品に触れ、「この続きを読みたい」「この世界の続きが見たい」と感じるものを見つけることが大切なんですね。

ちば:そう思います。心からそう思えたこと・ものには、その人の好みが出ていと思う。だから「こんな世界を読みたいなり」。「この作品の漫画版はないのかな?」「この漫画の続きが読みたい。」と思うものをまず見つけて、それを描いてみてほしい。そういう作品がまだ漫画になつてなければ一番いいよね。逆にそんな漫画がすでにいっぱい存在していたら紛れちゃうけども(笑)。自分が読みたいものを素直に描く。はじめはそれでいいんじゃないかな?

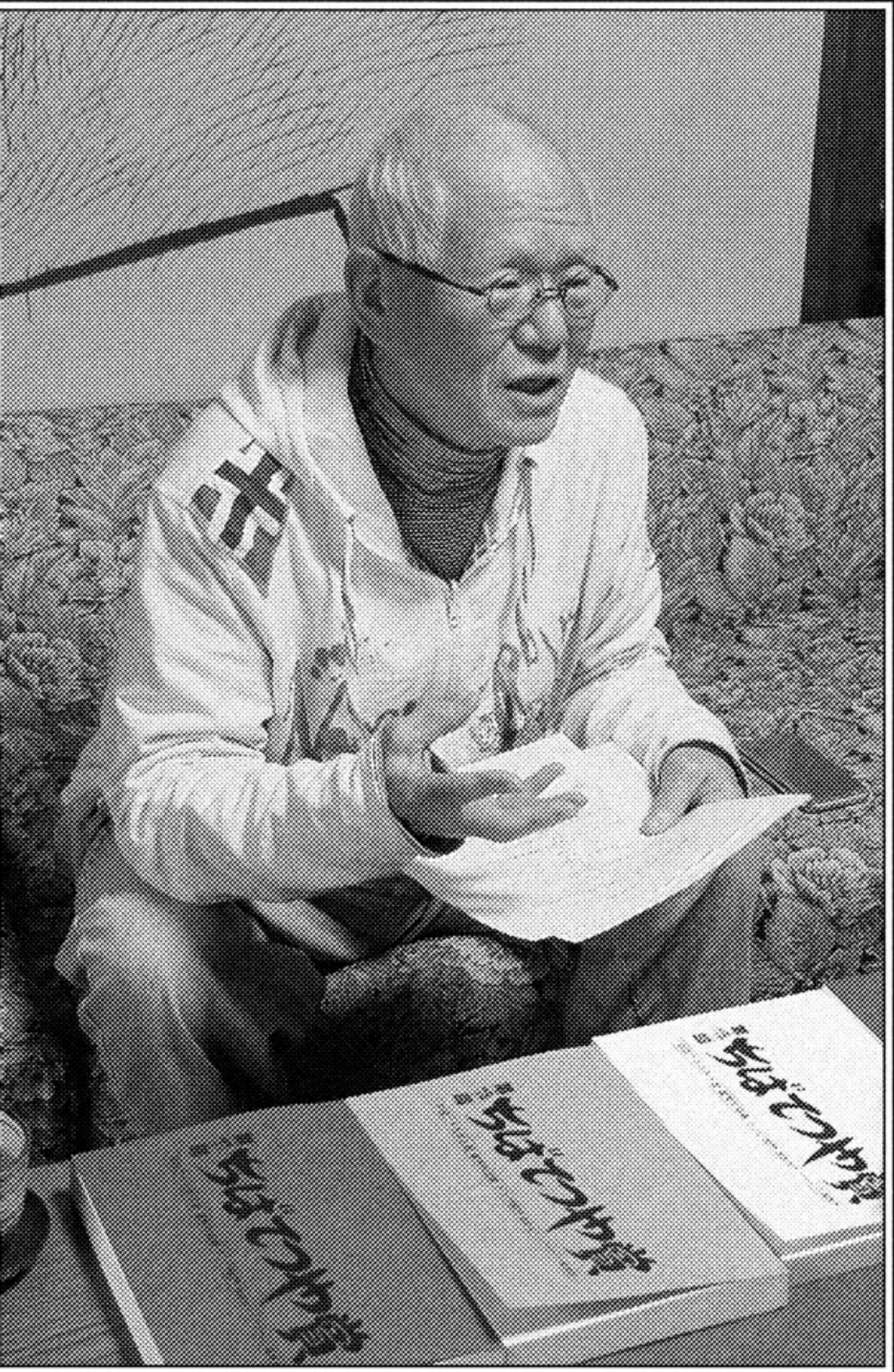
自分の得意、
不得意を
決め込まない。

——デビュー作は少女漫画とおっしゃつていましたが、一番苦労されたことはなんですか？

ちば:女の子を描くのがとっても苦手だったの、そこに一番苦労した(笑)。だから古本を買ってきても一生懸命、絵の練習をしましたね。男ばかりの4人兄弟だったの、それまでは女の子向けの漫画なんて読んだこともないから「読者は

変^ヤわりたい新人集合!

ちばてつや道場



何を喜んでるんだらう?」「何を面白がって少女漫画って読まれているんだらう?」という部分をとにかく考えました。ちよつと話は逸れますが、当時の少女漫画は悲しいお話が多かった。終戦間もなくのころだから、父親がいなかったり、意地悪な親戚の家に預けられていじめられたり。そういう『シンデレラ』のような話ばかりだった。だから私も、一生懸命悲しい話や辛い話を描きました。

ただ描いているうちに、だんだん自分も辛くなってきた。当時の少女漫画の主人公は、みんな健気で、どんなにいじめられても相手を恨んだりしない。だけど私は、しばらく描いているうちに我慢できなくなつて、キレた女の子を描いてしまった(笑)。いじめられた時に、相手の男の子をやっつけるシーンを描いたんだけど、そしたら編集の人がびつくりしてね。「女の子というものは、我慢して我慢して、それでも健気に王子様が出てくるまで待つような姿こそ美しいし、応援したくなるんだ!」と言われましたね。編集の人からは描き直してほしいと言われたんだけど、校了まで時間がなくてね(笑)。

——読者の反応はどうだったんですか?
ちば:ハガキや手紙やなんかがいっぱい来ましたよ。でも内容は「そういうリカちゃん大好き!」という肯定的なものばかりでした。いじめていた男の子を叩いているシーンを、はがきに描いてくれたりね。そういう反応がたくさん返ってきた。それから、嫌なことがあったらきちんと意見する女の子を描くようになった。それがだんだん私の持ち味になっていきました。そしたら「こういう活発な女の子を描けるんだから、ちばさんは男の子も描けるんじゃないか」って、少年誌の

編集の方から声をかけていただくようになりました。

私の漫画家としての人生のスタートは、苦手とする女の子のキャラクターばかり描いていた。でもそういう時期は必要だったと思う。漫画家になってからは、自分が好きとか嫌いとかではなく、どういう漫画が読まれるのか、を考えた。ながら、探り探り描いてきた。そのうちに自分の持ち味が見つかっていきました。読み手がどういう反応をするのか、読者のリアクションや編集の意見を聞く中で、自分の道を見つけていきました。

**苦しみ出して
からがプロ。**

——今でも漫画を描かれる際に大事にされていることはなんですか?

ちば:自分で面白いと思っていることが、しっかりと読み手に伝わるかどうかは、ずいぶん惑うし最後の最後まで悩む。実際に今「ビッグコミック」で自分の少年時代を私小説的に振り返る『ひねもすのたり日記』を連載しているけど、毎回わかりやすさについては最後まで考えます。私としてはほっこりと温もりのある良い思

最終回
ちばてや道場



最後に、ちばてつや賞を
目指している新人漫画家さんへ
向けてメッセージを
お願いします。

ちば：漫画を描くっていうことはとても大変なんだけど、良いものを描けたとき

い出ばかりなんだけど、読んでくれる人が「これで温もりを感じてくれるかな?」「ほっこりしてくれるかな?」とか。独りよがりにな

の感動や充実感というのは、ほかの仕事では味わえない程すごいものがある。例えば「クスツ」と笑うような場面を描けたときは、雑誌の発売日に日本中でみんなが「クスクスツ」って笑ってくれてるんだらうな。それこそ何十万人の人がね。そういうことを思うと、少しくらい苦し

くてもやりがいがある仕事だなあと思ひます。だから、少しくらい辛くても我慢してやってほしいと思う。ゞ苦しみだしたら「プロの道」。「ああ苦しい、ああ辛い」と思ったら、「ああこれは今、苦しんで人を楽しませようとしているな」って思つて、頑張つてほしいな。



ちばてつや先生、
ありがとう
ございました!

漫画家へと繋がる入り口であるちばてつや賞。プロへと続く道への第一歩として、出来上がった原稿はぜひちばてつや賞へご応募ください!

**応募要項は
コチラ!**

ちばてつや賞 第78回 ヤング部門 応募要項

大賞100
+ 受賞作掲載
本誌または増刊号

準大賞 (金非常貯) **70** 万円

優秀新人賞 50 万円

準優秀新人賞 **30** 万円

佳作 **20**万円 期待賞 **10**万円

●応募資格：年齢、経歴すべて不同！ ●ページ数：原則として、ページ数は10～50ページ以内、4コマ漫画は5～20ページ以内（10枚以上） ●作品内容：商業誌未発表のオリジナル作品であればOK！ ●描き方：原則としてB4サイズの原稿用紙などに、黒インクで描くこと。また、フキダシの中のスクリューは鉛筆で書くこと。モノクロでなく、原稿の外にあればカラーは、原稿用紙の上にラッピングペーパーを貼り、その上に鉛筆で書くこと ●デジタル原稿：デジタル原稿の応募も歓迎です。応募の際は、使用アプリケーションを明記し、原稿データとプリントアウトしたものを同封してください ●応募上の注意：原稿には必ずページ番号を記入し、最終ページの裏面に、作品のタイトル・住所・氏名（あればペンネーム）・年齢・職業・電話番号（連絡先を明記し）、漫画歴（あれば受賞歴）・アシタント希望の有無・応募した理由を記入してください。なお、住所・氏名にはプライバシーを考慮すること ●応募方法：持ち込み、郵送、WEB投稿いずれもOK ●その他：応募原稿は完全返却します。ただし、海外への発送返却はいたしませんのでご了承ください。なお、入賞作の版権は講談社に帰属します。

宛先 |||||||
〒112-8001東京都文京区音羽2-12-21
講談社 ヤングマガジン編集部

[ちばてつや賞]係

締め切り
2018年
月28日(水)
発表
マガ本誌2018年
月発売号(予定)

**WEBからも
投稿できる!**
ヤンマガHPの
新人賞ページをチェック

**持ち込み
大歓迎!!**

編集部は地下鉄**有楽町線護国寺駅6番出口徒歩1分**
必ず電話で予約をさせていただいて、平日の午後にご来社ください。

TEL03-5395-3461